





# 児童の変容と考察

児童が主体的に学ぶために、学習活動を繰り返しながら、新しい活動を少しずつ積み重ねたことによる抽出児童(C児)の変容と考察

生活単元学習「でんしゃにのろう れすとらんでいただきます」 事前学習1～9時間

＜＞新しい学習活動、 ・児童の様子、 ◇考察

時	聞く	見る・触る等	言葉・サイン	
1	<p>＜電車の音・曲を聞く。揺れを感じる。ブラックパネルシアターを見る。言葉・サインを知る。＞</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・あおむけの姿勢で、駅のホームの音やテーマ曲をじっと聞いていた。</li> <li>・ブラックパネルシアターでも音をじっと聞いていた。</li> <li>・「ガタンゴトン」のリズムに合わせて教師の膝の上で揺れを感じると笑顔になった。</li> </ul> <p>◇安心できる姿勢で聴覚で情報を得ることに集中していると考えられる。 ◇聞くことに集中できる姿勢を児童が選んでいると捉え、そのまま見守った。</p>	<p>＜電車の音・曲を聞く。揺れを感じる。ブラックパネルシアターを見る。言葉・サインを知る。＞</p> 		
2		<p>＜模型（電車）を見る・触ることで電車を知る。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅のホームの音が聞こえるとじっと聞き、テーマ曲のリズムに合わせて座位の姿勢で自分で上半身を揺らした。</li> </ul> <p>◇2時間目以降にリズムを取るようになったことから、「ガタンゴトン」という言葉と揺れが一致したと考えられる。</p>		
3		<p>＜電車に乗るまでの動画を見聞きする。切符を見る・触る。＞</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の終わりのサインの手の動きをじっと見た。</li> </ul> <p>◇サインを児童の近くで出したら、目でも追える速度であった。</p>	
4		<p>＜電車に乗り、降りるまでの動画を見聞きする。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型テレビで動画をじっと見聞きした。</li> </ul> <p>◇大型テレビとの距離をさらに近づけるとじっと見る時間が増えたことから、より近い方が見やすいことが分かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が終わりのサインを出したのを見聞きし、両手を挙げて下げた。</li> </ul> <p>◇まねをしたと捉え、もう一度終わりのサインを出して返した。</p>	
5		<p>＜乗る電車の色を知るため、模型（色違いの電車）を見る・触る。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型テレビに気付くと、自分から近づいて来た。</li> <li>・学習の途中でテレビが消えると、画面を触った。</li> </ul> <p>◇電車を見たいという意味で近づいたり、触ったりしたと考えられる。</p>		
6		<p>＜レストランの音・曲を聞く。動画等を見聞きすることでレストランを知る。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラックパネルシアターのイラストを出したときに、目の前にいる教師の腕を引っ張った。身体を自分で揺らしてリズムを取りながら見ることもあった。</li> </ul> <p>◇教師の位置が変わると、ブラックパネルシアターをよく見ていたことから、教師がいて「見えない」という意思表示だったと考えられる。</p> <p>◇見る・聞く・揺れることを同時に行っており、複数の感覚を使っていることが分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランの動画になると、音をじっと聞いた。初めての動画であることに気付いたが、見聞きできた。</li> </ul> <p>◇電車同様、音に注目できるようにしたことが、自分から見聞きしようという意思につながったと考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では初めて「いただきます」のサインを見聞きしたが、まねした。</li> </ul> <p>◇終わりのサインを学習してきたことから、つながりやすい状況ができていたと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の「終わります」という言葉を聞いて、自分からサインを出した。</li> </ul> <p>◇教師がサインを出す前に、言葉聞いて自分からサインを出したことから、言葉とサインが一致していることが分かった。</p>	
7		<p>＜車椅子で移動する。車椅子で揺れを感じる。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下や調理室でも音を聞いたり、サインを出したりすることができた。</li> </ul> <p>◇場所が変わっても、音を手掛かりにして、同じ学習であることが分かったと考えられる。</p>		
8				
9		<p>＜学校から駅に着くまでの動画を見聞きする。一日の流れを知る。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を消したり、ブラックライトをつけたりしていく様子一つずつ目で追って見ていた。</li> </ul> <p>◇電気が消える等の環境が変わることの見通しを持って、見て確認していたと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電車のイラストが出てくると、のぞき込むようにして、じっと見つめていた。</li> </ul> <p>◇自分から見ようとして、顔を近づけて集中して見ていたことが分かる。</p>		




# 児童の変容と考察

生活単元学習「でんしゃにのろう れすとらんでいただきます」



児童のペースに合わせるために、児童の自然な気持ちの流れを大切に授業を行ったことによる抽出児童（E児）の変容と考察

14時間目「楽しかったね」 事後学習

ねらい E児：大型テレビを見聞きして、秋の旅行当日に聞いた音に気付く。

学習活動	主な手立て	・児童の様子 ◇考察
1 授業の準備を見て、もうすぐ授業が始まることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習前に授業で使用するしおり絵本や大型テレビ等の教材を準備する。</li> <li>準備をする際は、何をどこに動かすのか等児童に伝えながら行う。</li> <li>興味を示したら、教材を渡したり、近づけたりして確認できるようにする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師がしおり絵本を持って移動していることに気が付いたE児がしおり絵本に興味を示した。</li> <li>提示すると、じっと見たり、触わったり、持ったりした。</li> <li>授業の準備をしている教師の動きや教材を見て笑っていた。</li> <li>◇E児にとっての学習の始まりは、この時であったと考えられる。</li> <li>◇しおり絵本を顔に近づけて見たり、触ったりしたのは、この時が初めてだった。E児のペースで、前時まで距離を取りながら確認してきたことで、この時に触ってみようと思えたと考えられる。</li> </ul>
2 駅のアナウンスや曲を聞いて授業が始まることを知る。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>前時で聞いたアナウンス、電車の音、曲の順番で流し、児童自ら授業の始まりに気付くことができるようにする。</li> <li>全身で意思表示ができるように、座位保持椅子等に座らず、自由度の高い姿勢で活動する。</li> <li>何度も繰り返して音を聞き、確認できるようにする。</li> <li>実際に風を感じるタイミングで、うちわであおぐ。</li> <li>3年生の3名は、教室で曲をかけ、授業の始まりに気付いて、4年生の教室に移動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナウンスと曲が聞こえると、教師に抱っこを求めた。窓の方向に腕を伸ばし、暗幕を引くように求めた。暗幕を引くと、次に廊下側へ腕を伸ばし、ドアの暗幕を引くように伝えた。次に、電気スイッチの方に腕を伸ばし、「電気を消して」という気持ちを伝えた。</li> <li>◇アナウンス等の音の後には、ブラックパネルシアターを見聞きするという見通しを持っていたことが分かる。</li> <li>◇教師が準備をする様子を見せていたことが有効であったと分かった場面である。準備の流れも分かっており、自分からその準備をするように教師に意思表示をした。自分で準備をしたと捉えることもできると考えられる。</li> </ul>
3 ブラックパネルシアターを見聞きして、電車の色や見え方、動きを見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日見た三つの色の電車のイラストを提示する。</li> <li>レストランは、音や音楽を聞くと、間を設けてから、「いただきます」のサインを出しているイラストを提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラックライトが点灯すると、抱っこから降りて、ブラックライトやイラストをじっと見た。</li> <li>◇自分から準備したブラックパネルシアターであり、見通しを持って、安心して学習に取り組むことができた姿であると考えられる。</li> </ul>
4 秋の旅行で楽しかったことを思い出す。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>当日、児童が経験した様子の写真や動画を入れたプレゼンテーションソフトを使用する。</li> <li>写真を画面に映すときには、写真に関係する音を流す。</li> <li>授業者から当日のエピソードの情報収集を行い、児童が思い出しやすいような音や言葉を使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習とは異なる動画等であることに気付き、少し距離を取って確認している様子だった。音を聞きながら、教師に向かって「あー」と話し掛けるような発声をした。</li> <li>◇音をよく聞いて穏やかだった様子から、昨日聞いてきた音であると分かったと考えられる。</li> </ul>
5 学習の終わりを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>終わりのサインを出して、授業の終わりを伝える。</li> <li>トイレや休み時間の過ごし方を実物や写真を見せながら提案し、気持ちが切り替わったところで、終わりとす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子の方向へ腕を伸ばし、乗りたいことを伝えた。</li> <li>◇終わりの挨拶を見聞きした後で、車椅子に乗りたいたいという意思を伝えたことから学習の終わりが分かったと考えられる。</li> </ul>


## 見る・聞く・触る活動を十分に確保するために使用した教材

<h3>電車の模型 1</h3>	<p>電車の窓ガラスの部分マジックテープにし、顔写真を貼り付けられるようにした。顔写真を貼ることで、電車に乗ることを表現した。顔写真を貼る、剥がす活動を通して、楽しみながら電車の模型に触ることができた。誰と乗る、どこに乗るなどの会話につながった児童もいた。</p> <p>2両作成し、マジックテープで連結させることで、スクールバスとの違いを表現した。</p> <p>ラミネートした色画用紙を貼ることで、光沢が出て見やすくなり、汚れや水分にも強くなった。段ボールの中に新聞紙を丸めて入れることで強度を出すとともに、軽さにも配慮して、児童が扱いやすいようにした。</p>
 <p>(縦12.5cm×横21cm×高さ16.5cm)</p>	
<h3>電車の模型 2</h3>	<p>電車の窓ガラスをマジックテープにしないことで、顔写真を貼れない状況を作った。写真が貼れないことで、この色の電車には、乗らないということ視覚的、感覚的に伝えた。</p> <p>児童は、貼り付けようとしても貼り付かないことを確認した。その後「乗る電車は、どちらですか」という教師の質問に対して、電車の模型1を指さすようになった児童がいた。</p> <p>作り方は、電車の模型1と同様である。</p>
 <p>(縦12.5cm×横21cm×高さ16.5cm)</p>	
<h3>しおり絵本</h3>	<p>大型テレビで見ている画面を自分で操作して見られるようにした。見る箇所を意識できるようにするため、台紙を黒にし、見開きに写真を1～3枚程度にして、情報量を少なくした。安全面の配慮として、手を切ることがないように、厚さのあるボードを使用した。さらにページをめくった際に顔にぶつからないように角を落とした。</p> <p>学校生活の中でいつでも見られるようにするために児童の手が届く場所に置いた。旅行当日に持参し、日程を確認した。</p> <p>秋の旅行後に一人一人に思い出絵本を作成し、振り返りに使用した。それを持ち帰って家庭に伝えた。作成の配慮事項はしおり絵本と同様である。</p>
 <p>(縦18cm×横25.5cm)</p>	
<h3>スクールバス模型</h3>	<p>窓ガラスをマジックテープにして、顔写真を貼り付けられるようにした。スクールバスの顔写真を剥がして、電車の模型に貼り付けることで、スクールバスを降りたら電車に乗ることを伝えた。運転席にもマジックテープを付け、運転手の顔写真を貼り付けられるようにした。作成の仕方は、電車の模型同様である。</p>
	

## 見る・聞く・触る活動を十分に確保するために使用した教材

<p>ブラックパネルシアター 電車（正面）</p>	<p>見やすい環境、見ることに集中できる環境を作るために、教室に暗幕を引いて暗い中で見た。</p> <p>秋の旅行当日にホームで見る電車のイラストを作成し、車両の色や形を見ることができるようにした。</p> <p>秋の旅行当日に見聞きする順番で見せる。電車の正面のイラストを、電車の音が少しずつ大きくなるのに合わせ、左から少しずつ動かした。当日見る色、見る向き、見る動きを伝えた。</p> <p>児童の視線の高さで提示するためにパネルをじゅうたんに置いてブラックライトを下から照らすようにした。</p>
<p>ブラックパネルシアター 電車（側面）</p>	<p>目の前を通過する電車の大きな音に合わせて、電車の正面のイラストから、側面のイラストに入れ替えて見せた。</p> <p>当日と同じ向きで見られるように、左から右へ動かして方向を伝えた。電車は何両もつながって長いことを伝えるため、3両の電車を作成した。</p> <p>さらに、ドアを開け閉めできるように作成し、ドアの開閉の音や曲に合わせて、ドアを動かした。</p>
<p>ブラックパネルシアター レストラン いただきます</p>	<p>レストランでは、いただきますをすることを伝えるために、いただきますのサインをしている人物のイラストを作成した。さらに、人物を複数見せることで、みんなでいただきますをすることを伝えた。</p> <p>レストランで流れている音楽や食器が重なるときの音、ザワザワしたお客の話し声、店員の声を流しながら、イラストを一つずつ出し、ゆっくり見聞きする時間を取った。いろいろな音が聞こえる中でいただきますをすることを伝えた。</p>
<p>プレゼンテーション</p>	<p>背景を黒にすることで、見やすく、見ることに集中できる環境を作った。</p> <p>写真や動画は、児童の車椅子の視線の高さで撮影したものを使用した。使用する写真やイラストは、対象物以外ができる限り移らないようにして、情報量を少なくした。</p> <p>授業において、児童の視線の高さで見られるように、大型テレビをじゅうたんの上に置いて、低い位置でプレゼンテーションソフトを見せた。</p>

## 見る・聞く・触る活動を十分に確保するために使用した教材

<b>卓上用 自動改札機</b>	切符を入れる場所と出てくる場所が異なるという自動改札の仕組みを確認できるように、卓上用の自動改札機を作成して学習した。
	自動改札機の学習の導入場面で、動きに制限のある児童が、すぐ近くで見て確認でき、移動しなくても切符を取ることができる環境で学習をした。 切符は、教師が手動で受取口から出す仕組みである。持ち運びが容易になるように段ボールで作成した。児童が触って活動できるように、ラミネートした色画用紙を貼って作成し、汚れや水分に強く、壊れにくいようにした。見てほしい箇所、目立つ色に絞って作成した。 活動を繰り返す中で、切符を入れると、切符が出てくる位置を見るようになった。

<b>自動改札機</b>	実際の自動改札機とほぼ同じ長さの模型を作成した。
 	上の写真のように、長机の上に置くと、実際の自動改札と同じ高さになるようにした。廊下を利用して、当日と同じ車椅子に座った姿勢で切符を入れる、取る等の動きを学習した。 下の写真のように、長机に置かずに、じゅうたんが敷いてある教室でも児童の視線の高さで学習できるようにした。そうすることで、学校生活の中でいつでも切符を入れたり、見たりできた。視線を移動させることが難しい児童も、切符が出てくるのを見つけてうれしそうな表情をしていた。また、切符を曲げてしまって自動改札に入らないことを経験した児童は、次から曲げずに大事に持っている様子も見られた。 仕組みは、卓上用の自動改札と同じである。段ボールで作成し、黒の部分は、黒ガムテープ、人が通る側面は、銀色のガムテープを貼り付けた。